

2019年02月26日

【格付維持】

オーストラリア連邦

外貨建発行体格付：AAA [格付の方向性：安定的]
 自国通貨建発行体格付：AAA [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

世界有数の天然資源大国であると同時に高付加価値のサービス業が発達し、制度面では先進国としての強みを持つ。引き続き高所得国としては高めの成長が期待できる。経常赤字のファイナンスに懸念はなく、金融セクターの安定性も損なわれていない。財政の健全化は着実に進展している。以上を踏まえて、外貨建および自国通貨建発行体格付AAAを維持した。

資源投資ブームが終了した2013年以降、実質国内総生産（GDP）は平均で約2.5%と堅調な伸びを保ってきた。輸出の約7割を資源関連製品が占め、液化天然ガス（LNG）などの輸出が経済をけん引する。民間消費に加え、インフラ投資を中心とした政府支出の増加も成長を後押しする見込みで、オーストラリア準備銀行（RBA）は2019年の実質GDP成長率を2.75%と予測する。最大輸出先である中国の影響は大きい。重要な対外環境として中国経済の動向には引き続き注意を払う必要がある。

2008/09年度（2008年7月－2009年6月）以降、財政収支は赤字となっている。商品価格の下落の影響から一時的に悪化する局面もあったが、規律を重視した財政運営の下で着実に赤字幅は縮小。政府は2019/20年度にGDP比0.2%の黒字を回復すると予想している。次回総選挙で仮に政権交代となっても、経済見通しが崩れない限り、財政状況が大きく悪化することはないとR&Iはみている。財政赤字の継続に伴い、政府債務残高は対GDP比で上昇したが、国際通貨基金（IMF）の見通しでは2020年に低下に転じる。

経常収支は慢性的な赤字で、海外からの資金調達是不可欠だ。従来のような高金利国ではないものの、先進国としての制度的信頼感がある国としては魅力的な利回りが維持されており、公的・民間セクターともに投資資金を呼び込んでいる。

D-SIBs（国内のシステム上重要な銀行）に指定される4大銀行を筆頭に、総じて銀行部門の健全性は保たれている。オーストラリア健全性規制庁（APRA）の規制の影響で、銀行の貸し出し基準の厳格化が進む。住宅供給の増加もあり、2018年に住宅価格は下落に転じた。金利の急上昇や住宅在庫の急増が発生しない限り、住宅価格の調整によって金融システムの脆弱性が高まることはないとR&Iは判断している。

自由党と労働党の二大政党が政治の中心。2019年5月までに実施予定の次回総選挙では、労働党が政権に返り咲く可能性が指摘される。いずれの勢力が与党になっても、信用力の基盤を大きく損なうような変化が起きる懸念は小さいとR&Iはみている。総選挙後に成立する政権が打ち出す政策に注目する。

【格付対象】

発行者：オーストラリア連邦

名称	格付	格付の方向性
外貨建発行体格付	AAA（維持）	安定的
自国通貨建発行体格付	AAA（維持）	安定的

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先：経営企画室（広報担当） TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html>をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	今村 恵子
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2019年02月19日
主要な格付方法	ソブリンの格付の考え方 [2018.02.20]

上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。

https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html

評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。

https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html

格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。

<https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html>

格付関係者	オーストラリア連邦
-------	-----------

注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。

利用した主要な情報 政府を含む公的機関が作成した財政・経済資料
品質確保のための措置 政府を含む公的機関が作成した、またはそれに準じた信頼性が確保されている資料であること。

情報提供者 —

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

信用格付に関わる留意事項

当該信用格付は、格付関係者からの依頼によるものではありません。

格付関係者から信用評価に重要な影響を及ぼす非公開情報は入手していません。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。